臺灣日日新報（夕刊）
（第二版）（原稿配達）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）
昭和十三年四月十七日（日曜日）
第一万三千三百六十五號
A（一）

十五機も撃墜

初見參の敵優秀機を 我荒鷲が廣東で

【上海十六日發同盟】艦隊報道部發表――去る十三日我が海軍航空隊は廣東方面に於いて天河白雲從化飛行場を爆撃せり、この日支那事變開始以來最初のグロスター・グラヂエーター機との交戰ありたり、即ち我方二十四機に對し敵は亦グロスター・グラヂエーター二十數機を以て交戰し壯烈極まりなき空中戰闘の後確實に其の十五機を撃墜せり、其他の數機は我が旺盛なる戰闘に恐怖し逃走せり、我方二機も本戰闘の犧牲となれり前記グロスター・グラヂエーター機は最高速力四百十五粁上昇力極めて大にして機銃四基を有する優秀なる戰闘機なるも今次空中戰闘に於いて帝國海軍の航空機と比較し劣力なる事を示せり之れ素より主として旺盛なる戰闘精神と連綿不斷の奮勉に依る卓抜せる技倆に待つところ大なるも亦我が機材の良好なる空中戰闘の適正に依るものなり、本攻撃に於いて天河飛行場格納庫一棟を爆破し、從化飛行場は附屬倉庫二棟を爆破炎上せしめ各飛行場滑走路を爆破せり

期間迄に回答來らず

佛兵の不法越境問題

【新京十六日發同盟】山海關に於けるフランス守備隊の不法越境事件に對する滿洲國側三條の要求を中心に行はれてゐる國境警察署及び辦事處とフランス當局間に於ける現地交涉については回答期限たる十五日午後五時に至るも何等報告に接せず其の成行きを非常に注視してゐる外務局としては現地に於いては嚴重既定方針を堅持しフランス側を監視する共に十六日政府當局は更めて斷乎たる手段を講ずる事になつた

佛守備隊は確答を避く

【山海關十五日發同盟】フランス守備隊の兩部隊將士佐伯關司令官に對し山海關國境警察署長及び辦事處長は十四日午後二時フランス守備隊にクルーゼル守備隊長を訪問し

一、速やかに自發的原狀回復を實施せられたし

一、かかる不法行爲は將來に於いて斷じて容認し得ず

一、フランス側において自發的措置なき時は我方において之を實施す、その場合において發生する總ての責任はフランス側にあるものとす

との嚴重抗議を提出した、之に對しクルーゼル隊長はフランス守備隊の行爲は絶て天津の駐屯軍司令官の命令を經ず獨斷實施したものであつて自分のみにては回答を與へられないとしその回答を延期した、フランス側との交涉は十五日夕刻より再開されてゐるが兩國國境は既に危險狀態に入つてゐる

臺灣も時局に寄與

人事異動は考へて居ない

歸任した森岡長官談

【臺北電話】十六日午後十五時で辭任した森岡總務長官は次の如き談話で往訪の記者に對する

この度は閣下御承知のやうに臨時議會の上京であつたが今度の議會は所謂戰時體制下の非常時議會で政府も議員も最初從來に對する態度を改め擧國一致の體制で臨んだ、議會も約八十日を超える長丈なものが終了し、その他の案件も一、二修正されたものを除いては殆ど原案通り通過した、この點は内地の反響と共へ政府に對する國民の信頼と希望とによる所が大で、之によつて帝國の時局に對する方針は確然と示されたと云つて良からうと思ふ、顧つて臺灣同胞では一世八千万同胞に上る皆つてない大飛躍が遂行した、その内には昨年來就任された府參議の後に續いて地方長官の異動を行ふ豫定であるが、之れは目下考へて居ない、人事異動は考へて居ない

天機、御機嫌奉伺の電報

皇太子殿下御誕生日に當り左の通り天機奉伺の電報を發した

大正十二年皇太子殿下誕生日に當り
行啓第十四回目の日に方り
謹みて天機を伺ひ奉る
右御機嫌奉伺候也

東京 皇后宮大夫
大正十二年皇太子殿下誕生日に當り
行啓第十四回目の日に方り
謹みて御機嫌を伺ひ奉る
右御機嫌奉伺候也

松平宮内大臣宛

森岡長官談

長官 今は御遣りになるのに打つてつけの時機でありませんか

記者 今はお遣りになるのに打つてつけの時機でありませんかと再び水を向けたが「ものはさうは行かん」とあつさり片づけられ人事問題については少しも執心の氣振りさへ見せない

長官 異動をやらぬと云つたからとて失望するのは可笑しい部を好む人は、或は失望するかもしれぬ

記者 今は總督府の最高幹部や各州廳の首腦部を始め各地の有力者が擧つて臺灣の發展に對する立場や役割について相當深く考へられた時局下の臺灣〝時局下の臺灣〟は言ふ迄もなく天皇の御心を心とせられる國もあり、淺ましいところか

長官 いや、何も考へては居ない

記者 總督府の部内に於いても人事に關しては噂一つ聞かない樣ですが

長官 噂は噂だけで實際は

軍官學校學生が續々逃走を企つ

戰線への狩出しを忌み

【上海十五日發同盟】最近前地へ着した情報によれば支那側は相當多數に上る學生を召集し強制的に戰線に狩出してゐるが、その動員は新入生たると未敎育たるとを問はず一旦現官學校に入學したものは強制的に戰線へ追ひ遣るので現官學校學生間に非常な不滿が捲き起つてゐる

皇軍慰問と經濟視察に

臺北市實業團一行が近く渡支

上海並に南京方面の皇軍慰問及び經濟視察のため臺北市の實業團十三氏が四月二十四日基隆出發の長沙丸にて出發することになつた、一行は臺北廳友會の會員で團長は川本彌一氏、副團長は村井勝吉氏、會計は中條八氏である

漢奸狩に狂奔

無賴の徒輩を動員

【漢陽十五日發】日本軍の來襲を豫想して駐屯切つての軍の支那側軍隊や住民の動員は最近益々激烈を加へ來つて來た台南州東石郡出身の侯朝宗張侯派氏は一四七出身の侯朝宗張侯派氏は塗師爺で漢奸の吸ひ出しに當らせてゐるといふ

墓祭行事を禁止

その費用を縣政府に强制獻金

救國に藉口して搾取

【漢陽十六日發】軍隊從來國府の保護振りが一層著しくなつたことは國人傳へられた所であるが國軍當局が最近墓祭行事に對しては國家救國に名を藉り去る淸明節に當り祖先に供するの費用二百五十萬圓を縣政府に强制獻金

濠洲で日本語研究

商大の淸田氏が專任講師

ク大學で講座を開く

【東京十五日發本社特電】シドニーのクイーンスランド大學では今春の新學期から日英文學士淸田氏が專任講師として渡濠することとなつた

東亞同文書院が半歲振りで上海へ

交通大學跡に復校

【上海十五日發本社特電】開戰以來二十八年の歷史に輝く東亞同文書院は學務部各校舍を初め附屬圖書館、物產館などの建物一切が兵の携行を喰ひ盡くし鳥有に歸し擧國市內の學生男女學校は殆んど全部閉鎖を餘儀なくされ、同校も上海の平和回復に伴ひ海路の交通大學跡を改造して復校する事に決定、敎授二十五名、學生二百二十名、職員合せて百名共に南京に移り夫候は支那新聞（名稱不明）記者として働いて居たもので最後脫出の八月末子供だけは逃げよとの事に世子三人丈人引揚げよと共に上海に殘され獨り夫の家に落つき夫候は獨り一人留つて居る程に消息を絶ち愛國の母日を送つて居たところこの程遂に學校當局に傳はり渡航證明書を得て勇んで行つた、尙この間同校は上海、南京を通じて多數に上る學生の愛國心の極となつてゐる

愛國公債

基隆でも賣切れ

【基隆電話】基隆銀行團では十五日午前十時より發賣されて第三回愛國公債額面一万八千円の賣出を始めたが當日は生憎全市水浸さんの盛況で開始前から既に長蛇の列を作り十一時半には賣切れとなり一般市民の依賴を斷つたところを見せた、殊に十九日の發賣の午後は水浸さんが賣切めたので市民は今更の如く感激して居る

岡山縣新見町の大火災

民家全燒二百戶

【岡山十六日發同盟】既報新見町の大火は民家約二百戶全燒の約三分の一を燒き十五日午後六時三十分鎭火したが山林に移つた火は從に約二里、百町歩餘を燒き嘗つて十九日午前鎭火した

玉堂書伯辭職

【東京十四日發同盟】東京美術學校紛擾の合言葉は十四日文部省當局の斡旋により圓滿解決をとり日本畫部敎授の辭職をとり日本畫部敎授の辭職を以て一先づ解決を見るに至つた、同氏は大正四年以來二十餘年美術學校に敎鞭をとり日本畫部敎授の地位にあつたが一昨年の紛擾問題に際し美術院會員を辭するとともに美術學校敎授をも辭したいと申出で其後同校會議の結果一應辭表を提出して其後同校會議の成立とともにその會員は受理したが文部當局も極力慰留したから從つて今日の發令となつたものである

楠公一族の後裔同族會を結成

來月廿五日 湊川神社で

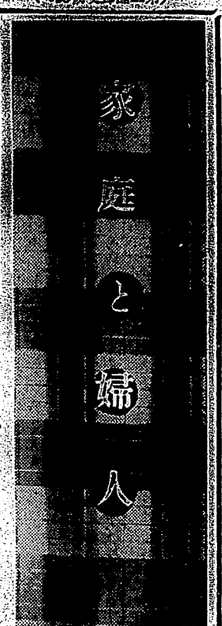
【神戶十六日發本社電話】前水の流れをくむ楠公の後裔の一族二百餘名は擧て同族會結成の擧連にあつたが愈々來る五月二十五日の湊川神社大祭を契機に同神社內七生館に集合楠公同族會の結成式を擧げ御水の供なびかせて大祭に參列楠公精神昂揚の鍊火を焚けることとなつた

輪禍の犧牲者死亡四十八名

負傷者は七十四名

新竹州の十二年度事故件數

【新竹通信】統計に現はれた交通事故は年毎に增加の一方を辿るが本島は未だ本格的の施行を見るに至つてないのである、然るに交通事故は到る處に發生し、從つて死傷者も亦決して尠くない、殊に新竹州は山岳地帶を控へ、又交通機關の發達も遲れてゐるので交通事故は他州に比べて少ないやうに見られてゐるが自動車、自轉車等の交通機關の數量の增加に比例して交通事故も增加して行くやうである、ときに非ず交通事故は運轉手（又は自車人夫）運行人の不注意から起るのが殆どであるがこの程新竹州警察當局の十二年度交通事故統計に現れても明瞭としてゐる、つゞ此故の大半を占める自轉車事故は七十八件、これに依る死亡者四十八名、負傷者七十四名でこの原因は運轉手の不注意に依るもの四十六件、被害者の不注意に依るもの十六件で機械故障等に依るものは僅か四件である、前年度に比べ死者九名、負傷者一名の減少を示してゐるが、これは



セルの新傾向

今年はこんな具合です

★花の次に経てゐるのは、若葉の眺めです。いよ〳〵南風と共にセルのキモノの季節——もしもういふ言葉が許されるならば——が許やひとの袂から、そして樹からひびくのも、これからの季節です。

……◇……

★昨年のことながら、セルにはそれほど寒い流行も見られませんでした。それといふのも、セルは大衆のキモノであるためとおもはれます。

★しかし、昨年全く同じ色柄模様は繰返されてゐません。

……◇……

★そこで、今年のセルの大体の傾向を見ますと、一般に、柳は減少、明快、色調もこれに添ふものが多く、一絣に進んでゐます。縞、格子、絣が、柳の模様をなし、白は

★紫り色としては、茶と白、又は濃手なものには緋赤、隅鵬など現れてゐますが、これらは若人向とは申せ、人柄を選びますから、柳と色とがいいからといふので、そのままずに隣近所から目分の身體に移すと失敗することがあります。

……◇……

★セルは御近所のやうに御自分の一着で、セルといふ言葉は、

……◇……

英國のサージ（Serge）の頭の部分の綾だけ取つて傳統したもの、サージとは全く別の織物ですが、元來羊毛を用ひた平織が普通とされてゐます。

……◇……

★しかし、近頃は絹方にも、新工夫が試せられ、絹紡織なども、根強く歩したものが見受けられます。ただ、ここに新興織物が現れたるス・フの出現のために、これまでのものとは、質に於て、手織りに於て大分違を足らない点もありますが、ここしばらくの御勉強でやがて秋口辺りからは相當に立派なものが現れるとのことです。

食慾をそゝる子供のお辨當

偏食の子供も矯正できる

御殿がさまよ前に、ちようこれをの中に入れて次を通しておきます。油揚は、せんに切つた椎茸、人參を一つの鍋に入れ味の素を入れて砂糖、醤油で適宜に味つけして煮ておきます。その中へ魚もみじで水で洗つた乾鱈を一本入れ、一緒に煮ておく。油揚を裏返しに切りひろげておきます。御殿の中に、よく汁を飛つた椎茸と人參のせん切り、青味を細に刻んだもの等をふり掛せて、油揚の二に殺せ、海苔巻のやうに巻き、砂糖で四箇所を結へ四つに切ります。海苔巻の方も、海苔を縦つて二つに切り、置けて、椎茸と、人參、青味の詰つた御殿をその上にのせて、細巻にいたします。

海苔巻さんと七分ぐらゐの長さに切りお組巻さんと七分ぐらゐの長さに切り合せ、紅生姜を二三枚添ます。

（新藤眞砂）

臺歌壇

安成二郎選

裏北　阿部　殿邑

異鄕の仕事を終へてしよんぼりを笠の心に一人ぬけり

筒切にたぎめる間を仰き見に空にひろごる夕雲路

いちじるき夜冷えの空を次の鴈道の雲は白くかがやく

裏北　會劍氏岡月

川縁に消えて明るし劍笠の大里山を白き歩ゆく

ひとり來て椋鳥の林のしづかなり物思ひつつ朝空を仰ぐ

裏北　計良　次介

千世帶の歌・世歌け朝風の街にひびきて心さやけし

家待てば暮し苦しと戸口に向ひて指ぐる我かも

たらちねの母の鳴へる山食ふつ我が故郷を夢に斷りぬ

裏北　林　美雪

夕暮の空を飛び行く飛行機に手帝は手を上げ呼びかけてをり

裏北　阿部　殿邑

夜の雨に窓氣曇りし木ノ後硝子格さびしく映けり

ほのくと香りを放つ朝の鉢月のさし入る後にうつしね

北斗　有馬たま子

いつとりか思ひをりけるかのことを歌に詠まんと思ひはずれど

昼こむる空にほのかに二月の出でてをりけき朝の霞けさ

長く病む人を慰めし朝げ方の何か不吉の思ひするなり

日のさして眩きばかりクロトンの實にかがよへる朝の露かな

强風の來て窓ぐバラの花散りてさみしき庭となりけり

注意せよ牛乳と果物

同時に攝るは禁物

牛乳又は牛乳入の食物を攝つた場合は、果物は三十分ほどおいてからすゝめます。このことは特に病人には大切です。牛乳と果物の酸が同時に胃に入ると、凝つて、

連載漫畫 蕃藏センチメン 59

オドロイタノハ、モクサン。チビクンガ、イツノマニ、コンナトコロヘキタノカ、ト、オモツテキルトツナヲクヒキツテ、ソノハシヲ、クハヘルト、マヌ、ウシロヘ。

カバタクニヲ

川原久仁於

マルデ、クウユウサーカスノ、サウニ、チビクンハ、ヒカウキノドウタイニ、トビアガツテ、マヘニマヘニト、スヽンデ、ツヒニ、モクサンニ、オメドホリ。ワンワン、ヤア、コンチハー

人美トーハ

この用意
さへあれば
春の病氣も
イケ洒々

姉妹品
シルバーハート
ホワイトハート

御近所の藥店で
お求め下さい

臺灣六法

定價　資料　四円也
送料　附八錢

最新日本新舊照對比說

晩酌が繪本に代る親心！

時局柄と實大！

此際無駄を省いて子供が良くなる「講談物の繪本」をお與へ下さい。

全國の有名書店にあり。

大阪市住吉區昭和町廿三
大阪 アイン 繪本舗

藥治淋特効藥治淋特効藥治淋特効藥治淋特効藥治淋特效藥治淋特效藥治淋特效

國定忠次 (234)

(第上圖)

長谷川伸作
岩田專太郎畫

大戸の土 (六)

須丸卸がひつこきて、

「幾。どんな親子だ」

「須丸郎さん。お前ン処で、この掛軸をこゝの宣伝に暴を持たしてくれ給へ」

「いいや。お前の食ひ物は、それここに持つてきた」

「ちや、この手紙もお前らやねえだ」

「嫌らやねえ。何だ、知名かねえた。開けてみろ」

「あれッ。金が二両、何も字が書いてねえ」

「ある訳つた。お儲んだ」

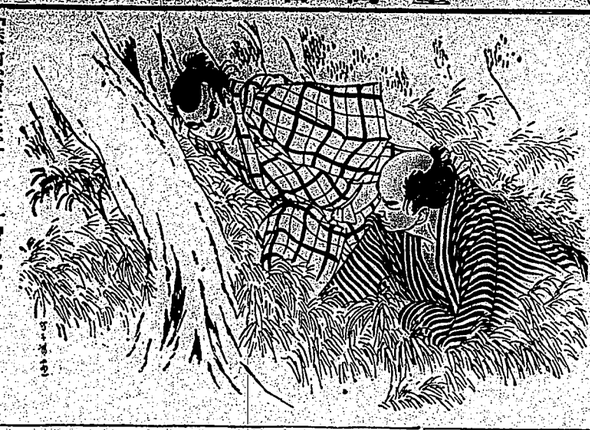
「不人情なあのが何でこんな事するものか」

「さう云つたものちやねえ、あの親は病気が重くてゐるんだ。ああいふ父なんてのは、月の曜りのときには酔くなるもんだ」

「さうかなあ」

「あれ？」

「何だ？」



「幾、何か音さしたか」

「いいや」

「親分は酔つてゐるし、はてな、妙な音がしたんだが」

と、聞くが否や頑鉄は、外へ身軽く飛んで出たかと思ふと、早、駈けてゐる。須丸郎も続いて飛んで出た。

夕方で、薄くもない雨から夕夜の飯の頃ひと、新の間の、木草の間を渡れてゐる。

須丸郎は小屋の前に到着した。万が一、捕り方でもあれば、覚が不自由ロのきけない悪次を、斬殺して自殺と、悪腕を揮ひ、素早く駈を跳めてゐると、

「来い。こつちだ」

と、声がして、日が暮れて薄黒く見える木草の中から頑鉄が、一人の男を提へて現れた。須丸郎はその男を一目見てはアとした。御用聞き世民田の幸助親分で、即見知りの六蔵だ。

六蔵は裏ッ背になつてゐる。頑鉄が、

「見てえのだらう、見せてやる。おらが親分かんとなになつて居るか、道理なく小屋の中へ入ひつて見るがいいだ」

「幾。ちよいと待て。六さん僕を知つてゐるだらう。国定おのもの須丸郎だ」

六蔵は下に向けた顔を統に振つた。

「な、なンだつて」

「ここに居れば手がはひら、引越さねえでどうなる」

「判つた、五目牛へ行くのか」

「お儲の処へは行かねえ」

「だつてお儲組親は お前ン処に隠れて、親分の物や他の物や食ひものや薬や、セツと運んでくれてゐるぜ」

「あすこへは金輪際ゆかねえ」

「ちや何処へ行くのだ」

「田部井の庄八の処へ行く」

庄八は忠次の妻お町の実兄で、そこにお町が同居してゐる。須丸郎が又、

「田部井にはまだ他に、親分を預けるのにいい処がある。幾、安心してゐろ」

「五人の兵候兵」
十九日浅草で映

本社慈善団体協賛「五人の兵候兵」は東和商事の「赤ちやん」と共に九日より国際館に公開されが来る廿日より国際館の常設にて十一日より各常設館のみを放映し一般公開は夜間のみ公開されてゐたが殺到する観客を慮定の十五日をに開は夜七時半よりなされる由

珠數を語る

百八煩惱を滅却して
彼岸の淨土に渉るしるべ

何を見て彼岸へ――鬼　貫――

春の彼岸――佛の供養の時が過りました、それに因み、今回佛の名称と珠數のお話を伺ひませう

▼

珠數（ジュズ）は佛、菩薩を観する時に手を繰けまたは繰み、或ひは唱念の數を心おぼえするためのものであります。さて、珠數（ジュズ）の珠の數には、一八、十百八、五十四、四十二、二十七、二十一、十四などの種類がありますが、なほこの外に三十六の珠と十八のとがあつて、これが一般には用ひられてをります。これらの中でも百八の珠數が基本で（一百八珠を最勝となす）と説かれてゐます。三十六や十八のが、ひろく用ひられてゐるのは三十六の珠は、三座繰れば百八となり、十八の珠は、六度繰れば百八となる、つまり唱念の數が百八となる、つまり唱念の數が百八となるといふ点から作られたものであらうと思ひます

▼

百八の珠數には、親珠と三つの脇珠より大きい珠を一つ入れます、更にその親珠と向ひ合ふところに「向ひ珠」といふのを一つ入れます。親珠はお釈迦様で向ひ珠は地蔵菩薩であると言はれ申しますが、経文によりますと、親珠はお釈迦様を現はすことには変りありませんが、向ひ珠の方は百八煩を本有の五仏中、位と修得の五十四位との関係を明かにするため

▼

この親珠と子珠のほかに、四天或は四菩薩と申し、四顆の最細の小珠、普通には水晶珠はガラス玉が加へられたのがあり、また、親珠から総を垂れたのがあります。その総には二顆或は二十顆の小さい珠がついてゐるのが普通ですがこれは記子と申して、百八珠を繰つた數珠を心お使ひするためのもので、二顆通つたら記子一顆を指の間に挟みます、つまり記子十顆数へれば二八十、三寶の御名を唱へたことが判るのであります

▼

珠數は各宗派に依つて別のものが用ひられます、天台、真言、浄土、禪宗などで用ひられるのは親珠の総に二十顆の記子がありまして、向ひ玉に記子がありません、ただ総だけについてをり何れも御諭求態と申します、日蓮宗は向ひ珠にも二十顆の記子がついてをります。

▼

浄土宗の四種ほどありますがその中で、二連念珠と称へ、僧本上人の護念された珠數は獨特のものであります。これは二つの珠數が二連になつてゐて、二連が四十顆、一連が二十七顆で念佛を一遍唱へて一珠を繰る、四十顆を一廻り繰れば二十七顆の方の玉を一つ宛の間にはさむ、かうして二七顆全部をはさみ切つてしまふと、千八百遍を念佛した事になるのであります。更に二方の総には六顆、一方の総には十顆、各々形の異つた記子がついてゐます。これを用ひれば計六万遍を数へることが出来る仕組です

▼

禪宗の珠數も百八念珠が根源で親珠の総には二十顆の記子と二顆留があり、向ひ珠の總には記子のないのが普通です、そして駢式の時は十八顆の數珠を用ひます。禪宗の信徒の方々が持つてをられる數珠な珠數はこれであります

（終）

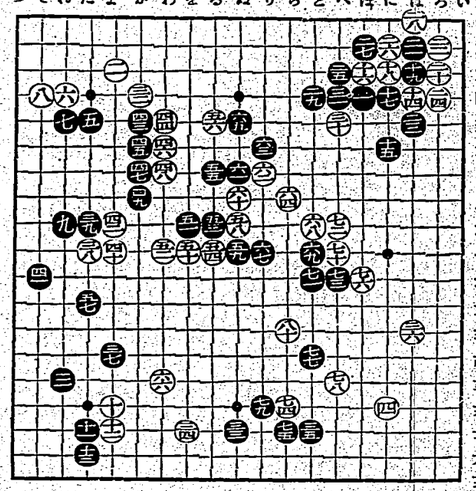
有段者十人抜碁戰

（第三次）
（十局ノ二）

本社主催

大塚一段　先相先　亀井源八
氏勝同　二目半出ミ　宮里初段

番碁井段二先相先　恭冒頭筆



つそれたよかわをるぬりちとへほにはろい

一二三四五六七八九十廿廿廿廿五六七八九

●四二ノ九　●四三か五　●四五か六　●四六か八　●四八わ七　●五〇を一　●五一ぬ九　●五二る九　●五五る七　●五七た一二　●五九ぬ一〇　●六一ね七　●六三り六　●六五ぬ五　●六七り一〇

○四二ノ九　○四四わ五　○四六わ六　○四八わ七　○五〇を一　○五一ぬ九　○五二る九　○五五る七　○五七た一二　○五九ぬ一〇　○六一ね七　○六三り六　○六五ぬ五　○六七り一〇

●六九と一〇　●七一と一一　●七三ハ一一　●七五ち一六　●七七と一四　●七九り一六

○七〇へ一〇　○七二へ九　○七四ち一六　○七六ハ一三　○七八ち一五　○八〇ち一三

鷲頭信恭 評

■四一は一本「七九」に押し白が「か一〇」に伸びたる後に於てすべし黒四六は緩しくわれに八へ白七五ならば六に持ち白「ユ六」と出でた時軽く「九四」に切り白若し「七五」を五に出でば「七四」に切るべく白、七四に粘りばを五に一目を打放すべし、黒五五は「ぬ九」に伸びべきであらう、五七にても間は狭りでをるに五八と一目の頭をたたかる事となりて黒の不利大ならん、八〇如何り九に伸び易くさせてはならず六五と跨り出でられる事となりて面白からざらん、白七四如何と申しますが、経文によりますと、親珠はお釈迦様を現はすことには変りありませんが、向ひ珠の方は百八煩を本有の五十四位と修得の五十四位との関係を明かにするため

力士文字二五ニス

△ワガ海軍航空隊ガ　十日　長沙ヲ　バクゲキシタトキ　蔣介石ハ　雨足ヲ、宋子文ハ　腹部ニ　ジユウシヤウシ　手アテヲウケテ　夜ニナツテカラ　ドコカヘ　ツレテ　イカレタト　イフコトデス

△山西東南部ノ　山ノ中ニ　ニキル　共産軍ヲ　コウゲキ　シテキタ　ワガ陸軍ハ　十三日午後七時半ゴロ　共産軍ノ　コンキヨ地デアル　猛社ヲ　センリヤウ　シマシタ

非常時の五月人形 (六)

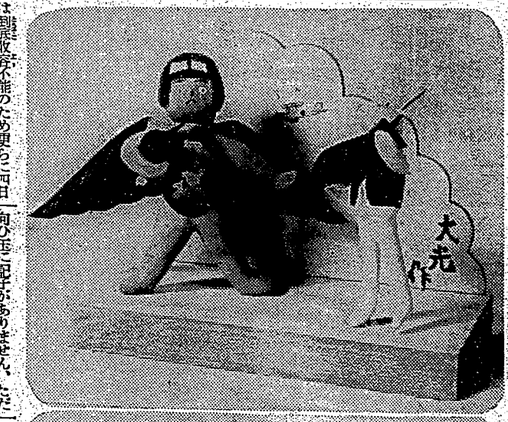
上　芸艸金峰　下　日支提携人形

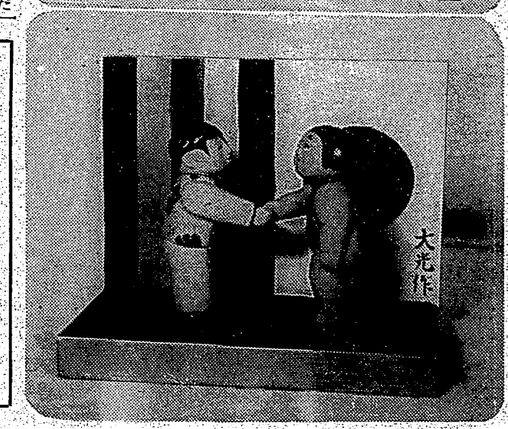
意味と百八を折半にした五十四顆は五十四位の菩薩を象徴する、なほ珠數の材料としては鉄、赤、黒、真珠、白玉といふ珊瑚、水晶、琥珀等が用ひられるやうである

人形淨瑠璃
大阪文樂『新義座』

廿、廿一の両日榮座で

世界に誇る本邦唯一の国際藝術人形淨瑠璃は古い傳統と感覚を持つてゐる大阪文樂が其の代表的なものである、此の最高の藝術境より一歩でも踏み外す事なく、常に新しい藝術的使命に邁進すべく昨年渡吾し国際的人気を博し年暮へ行く欧州各地巡演の為めに心強き記録的成績を残した本年は愈々内容を充実し再度渡吾を決行し来る二十日より二旬間榮座に於て公演することになつた、一行は竹本南部太夫、竹本隅原太夫竹本美叩太夫、竹本越路大夫等の義太夫連に野澤勝平、野澤松之輔、野澤喜左衛門、野澤吉之助等の若手の三味線連の一行にお馴染みの桐竹門造が指導する乙女人形の一團を加へたる四十餘名の大一座である、何今回は特に文部省後援の下、傳統を異へた有名な山内中将の母を題材脚化した忠国美談「代唱方後役割座」を新作上演出来する筈である





商況（十六日）

臺灣正米市場前場

▲期迷濟米　即場
▲期迷濟米　當　先　中
二、三車　不申　不申
▲期丸錦米　寄　止
二車　売　買
▲期迷濟米　安
一車　売買
▲期迷濟米　中場
二、三車　不申　不申
▲期丸錦米　寄　止
二車　売　買
▲期迷濟米　安
二

臺灣日日新報
本日夕刊共十二頁
昭和十三年四月十七日（日曜日）
臺灣日日新報
第一万三千六百七十五號
（第二版）（原稿配達）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）昭和十三年四月十七日（日曜日）

社說

"少年保護"の根本方策
親の不良性を先づ改めたい

一

本文を、世間の親たちに掲げたい。何となれば、本日の"少年保護記念日"を特に意義深からしめる為めには、親たちが集つて少年保護の眞諦を語らねばならぬからだ。率直にいえば少年少女だちが、良くなる悪くなるも、結局は親たち次第であり、その眞價如何に依つて左右されるといつて急ち過言でないのである。俗に"親の因果が子に報い"というが、實際その通りで、親たちの平素の言動、行爲、擧措等は、知らず識らずの裡に子供の心理に影響する。少年少女たちの不良化を防ぎ、身も心も健全なるの育成するために、厘毛と雖も疎かりして貰はねばならぬのである。コレ以上に根本的な善き保護の途は、斷じて他に無いことを知るべきである。

二

親や"眞面目"な子供に與へる惡化は、子が未だ胎内に在る頃から始まるが、出生後に於ては、最初の離乳を迎へる前後頃から急に著しくなり、殊に保護の一部として、その眞價如何に依つて左右されるといつて急ち過言でないのである。俗に"親の因果が子に報い"というが、實際その通りで、親たちの平素の言動、擧措等は、知らず識らずの裡に子供の心理に影響する。少年少女たちの不良化を防ぎ、身も心も健全なるの育成するために、厘毛と雖も疎かりして貰はねばならぬのである。コレ以上に根本的な善き保護の途は、斷じて他に無いことを知るべきである。

二

親や"眞面目"な子供に與へる惡化は、子が未だ胎内に在る頃から始まるが、出生後に於ては、先づ此点に深く留意を要するのである。殊に今日非常時下にあつては、父母の職業上の關係から、或は出征軍人の留守家族として、或は又出征軍人の遺家族として、特に世間の親たちに於ても、その子供に對する保護の重大性を痛感して居ることであらうと思ふ。

三

"愛の法則"といはれる少年法も、右述べた根本にまで遡るの手續を經ねば眞に其の效果を擧げ得ないのであるが、"修身齊家"等道徳上の問題は、法の力に期待し得ざる是非とも少年の眞價保護皆たる親たち若くはそれに代る人々の自覺に俟つ外ない。茲に於ては、此の少年法實施へ來た旅行を契機として四月一日より未成年者の禁酒禁煙の實施を見た際柄である。由來この習慣は、多數の大人に於ては、從來その他思はしき習慣あり、又内地人間にかけては、徒に"無氣力"式の弱分かり勝ちである點を掩ひ得ない。殊る現下國際關係に在りても"だらけ"切つての言動の下に於て何としても共に健全なる少年を將來に期待し得ようそ。少年保護の十箇に在る親たちは、先づ此点に深く留意を要して以て敎導するの覺悟を持つべきである。殊に今は非常時下であり、今後の國際關係を觀望しても、次の時代を背負うより又國防を擔任するの少年達の心境が、共に健全であるといふ點は、所謂人的資源の問題として緊切な關係にある。これ本文を、特に世間の親たちに訴くる所以である。

中にも一際目立つ 高橋、佐藤部隊の動功
指揮官が感謝狀

【上海十六日發同盟】廣東方面における海軍陸戰隊と敵グロスター・グラジエーター機との壯絶極まる空中戰は、英國新聞の傳ふる所によれば、敵機の撃墜は英國側の發表より見て我が航空隊の發表の數字を遙かに下廻つてゐるとされてゐるが、何れも敵機に優れてゐることが世界に明らかにされ世界に眞に新しき驚異を投げたものとされてゐる。而して右戰鬪に於ける我軍の受けた物質的損害は殆んどなく、人的損害も僅少であつたことは、我が航空隊の偉大なるものあり、十五機を擊墜された外國に關係方面

地價の高いことは
砂糖 生産費高の主因
溫室への詰込主義は考へ物
日糖嘉義販賣課長 秋山孝之輔氏談

三月二十八日一年振りに來臺、日糖の各工場設備を視察を終へ一巡し各關係方面へも挨拶を終へ十五日來北した同社販賣課長秋山孝之輔氏は十七日の朝社の記者に次の如く所感を語つた

今期 の農穫は諸作りの増産の意ひの外、早くついてゐる、五、六月頃決定する十四、五年期の原料代を此の上引上げることは出來ない、今期は二十六百万噸と云はれるが、甘藷から此の溫室内に育つところのものである、甘藷から此の溫室でも出來る、此の意味からすると米は増産に入れなくてもよいといふことになる、農業の改良と云つて統長をいじるやうな氣持ちでやられてはやり切れない、又小作料が年々上る二万で地主は益々強かり小作人はその割に有難味を受けてゐない、粒を辛苦、營々として働く小農が一向に潤されずに僅か手をして吾等生活をしてゐる地主階級のみが肥え太つて行く狀態に就ては社會政策的にも考慮の餘地多く

業佃 關係の改善が切實に痛感せられるのである、元々業佃協調なんて極めて地味な仕事であるから現代風にはやされ易いのは當然であるが、要するに大原則から割り出した業佃關係の改善を圖つて二年の實績に照し實に六割以上の増産を有利に導致しこれ以上の飛躍的發展を期するやうにしなければ國家の爲めにならぬ結果を招來し、日本の農業が衰退するやうになつてからにもなる、殊に地價が著しく上つたに地價の高いことが直接關係にコストを高めてゐるのだと云へる、コスト上へば

今期 の農穫は諸作りの増産の意ひの外、早くついてゐる、五、六月頃決定する十四、五年期の原料代を此の上引上げることは出來ない、今期は二十六百万噸と云はれるが、甘藷から此の溫室でも出來る、此の意味からすると米は増産に入れなくてもよいといふことになる、農業の改良と云つて統長をいじるやうな氣持ちでやられてはやり切れない、又小作料が年々上る二万で地主は益々強かり小作人はその割に有難味を受けてゐない、粒を辛苦、營々として働く小農が一向に潤されずに僅か手をして吾等生活をしてゐる地主階級のみが肥え太つて行く狀態に就ては社會政策的にも考慮の餘地多く

業佃 關係の改善が切實に痛感せられるのである、元々業佃協調なんて極めて地味な仕事であるから現代風にはやされ易いのは當然であるが、要するに大原則から割り出した業佃關係の改善を圖つて二年の實績に照し實に六割以上の増産を有利に導致しこれ以上の飛躍的發展を期するやうにしなければ國家の爲めにならぬ結果を招來し、日本の農業が衰退するやうになつてからにもなる、殊に地價が著しく上つたに地價の高いことが直接關係にコストを高めてゐるのだと云へる、コスト上へば

今期 の農穫は諸作りの増産である、此の溫室でもあらゆるものが好く育つが、溫室から外に出すと云はれるものもある、甘藷から此の溫室内に育つところのものである米は増産でも出來るが、内地、朝鮮、滿洲國でも出來る、此の意味からすると米は増産に入れなくてもよいといふことになる、農業の改良と云つて統長をいじるやうな氣持ちでやられてはやり切れない、又小作料が年々上る二万で地主は益々強かり小作人はその割に有難味を受けてゐない、粒を辛苦、營々として働く小農が一向に潤されずに僅か手をして吾等生活をしてゐる地主階級のみが肥え太つて行く狀態に就ては社會政策的にも考慮の餘地多く

業佃 關係の改善が切實に痛感せられるのである、元々業佃協調なんて極めて地味な仕事であるから現代風にはやされ易いのは當然であるが、要するに大原則から割り出した業佃關係の改善を圖つて二年の實績に照し實に六割以上の増産を有利に導致しこれ以上の飛躍的發展を期するやうにしなければ國家の爲めにならぬ結果を招來し、日本の農業が衰退するやうになつてからにもなる、殊に地價が著しく上つたに地價の高いことが直接關係にコストを高めてゐるのだと云へる、コスト上へば

今期 の農穫は諸作りの増産である、此の溫室でもあらゆるものが好く育つが、溫室から外に出すと云はれるものもある、甘藷から此の溫室内に育つところのものである米は増産でも出來るが、内地、朝鮮、滿洲國でも出來る、此の意味からすると米は増産に入れなくてもよいといふことになる、農業の改良と云つて統長をいじるやうな氣持ちでやられてはやり切れない、又小作料が年々上る二万で地主は益々強かり小作人はその割に有難味を受けてゐない、粒を辛苦、營々として働く小農が一向に潤されずに僅か手をして吾等生活をしてゐる地主階級のみが肥え太つて行く狀態に就ては社會政策的にも考慮の餘地多く

日本アルミ 花蓮港工場
七月から工事に着手
職員職工は二千名を所要
吉田專務取締役談

【花蓮港電話】日本アルミニューム會社の吉田取締役は此の程竣工所並に工場建設打合のため來北し往訪の記者に語る

今回本社では愈々花蓮港に工場を建設することに決定し、それに要する電力は木瓜溪及清水溪上流の發電所を利用して二万五千キロの電力を目標として滿化することになつてゐる、本社が當地方に工場を建設することになつた第一の原因は電力が豊富にコストが非常に安くつくためであるが、工場敷地としては米崙溪の西北に約十万坪を選定し

定完了したので、不取敢第一期を創始し來る七月頃から工事に取掛りたい意向であるが、設備の關係もあるから現狀を以て第一期を終るのは十年一月頃にならう、工場能力は發電力年産四千噸を目標とし原料のアルミナは當面當分は米國から供給を受けることになつてゐる、尚將來は製造能力を現在の年産八千噸までにしたい考へでその暁には原鑛を當地方から直接供給を受け、當地一貫同社アルミニュームの製造をする計畫である、次に工場に使用する水の問題が、それは一部は街の水道から供給を仰ぎ又一部は工場内に圓形井を掘鑿して補充する計畫で傍ら地質調査をもしたい、尚將來工場附近の總督府林野の關係もあるから現狀を調査し、その結果工場の建設については考慮を拂ひたい、工場には從來する職員と職工は少くとも二千名内外に上る狀で、これらは工場地區内に社宅を建設し、これに收容することになつてゐる、尚當地方の方に對し御關係を願ひたいのは本會社の事業は單なる營利的のものではなく、全く國策的重要事業であるからその点を十分御承知の上何分の御援助を仰ぎたい次第である

東京倉庫同盟と廻米問屋が喧嘩
値上げ要求を繞つて
遂に商工省が仲裁乘出し
十八日から庫止め打切り
料率折衝に決定

【東京十六日發同盟】昨年十月實施された以來二箇年に亘り、倉庫業法が施行されて以來、倉庫業者の組織されてゐる東京倉庫同盟では、毎日東京市民の消費米三分の一を荷扱してゐる深川廻米問屋に對し、保管料、荷役賃の二割五割乃至八割方の大幅値上を要求してゐたが、廻米問屋側では不當な値上だとし一、料率は現狀を以て據置くこと二、荷役賃の一割五割方の値上は認めるが、これを實施するに當つては米價の暴騰を防ぐ爲め當分の間實施を延ばすこと三、荷役賃の値上は實施後三箇月間は現狀を以て据置くこと等を條件として倉庫業法に基く倉庫業者の團體である東京倉庫同盟が仲裁を申込んだ、これに對し廻米問屋側では之を拒絶したが、商工省では米穀の圓滑なる需給を圖る爲め兩者の間に立ち、十六日午後三時から商工省會議室に於て兩者の代表者を招致し、仲裁案を提示したが、兩者とも之を受諾しないので、十七日午後一時から再び會合することになつたが、兩者の意見は依然として對立してゐるので、商工省では十七日中に兩者の意見を聽いて解決の途を講ずることになつた、尚仲裁案の内容は明かにされないが、大體の線は倉庫業者側の主張を容れ、荷役賃の値上は實施後三箇月間は現狀を以て据置くこと、料率は現狀を以て据置くことに決定するものと見られてゐる

仕手戰激化に 丸糧は大波瀾
一日に五十丁の亂高下

一日以上の續落を續けて來た丸糧は僅かに戻り過の買安へに十四円三十錢台の天井圏で亂舞してゐたが、四月二十日限の標近につれて又々買方の旗色惡く十二円八十二錢と急落を演じた、主力筋方は極力的買出で收拾の利益ひもあり從つて十四円三十二錢、中限十四円四十二錢と續落し、先限十四円十二錢と下つた丸糧は一時十六円台に乘せ、又々仕手戰的氣配となり、前場引續き買進まれ三時半場外の氣配は買氣旺盛で、中限十四錢高、先限十六円台に乘せ、十六日は中場で又復軍勢となり、中限十四円四十二錢と續落し

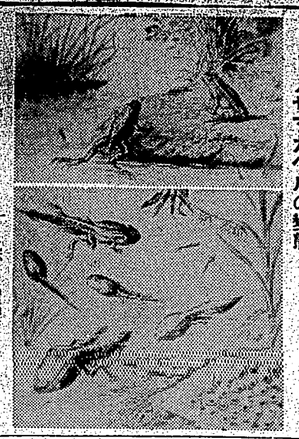
蛙の赤ん坊 (下)

蝌蚪から蛙へ成長

東京科學博物館　百瀬文雄

ヒキガヘル夫婦は間もなく沼を立ちました、四月になると彼等は又餌ひろく地上へ移ります、それまで十分榮養を貯る心算でせう

二週間位と蝌は蛙形となり十日位で頭と尾の區別がつくやうになりました、其の中に眼も鼻孔も三對の外鰓も生じセラチン質の覆も破てポツポツ出ました、まだ口開きませんが吸盤があるので何かに吸ひ付かうとして無



トノサマガヘルの變態

つてゐます、二週間位から口も開き、體りして眼も出來上つて來ます、水中を泳ぎ廻り水苔を石から齧み取つて食べます

「オイ、暫もつと導くへ行つて見ないか」

「さて何たか怖いなあ」

長い尾を振りく蝌蚪は大膽きで皆の者を誘つて泳いで行きましたまた外鰓が見へてゐる殊なホル蛙はいつもビリから離して行きます、右を向いても左を向いてもお腹の白いアカガヘルの蝌蚪が一杯です、彼等の中には兩親だけ生んだのや隣手前兄が生んでもまだ長い尾を振つてゐやうなものもありました、然し餓ヒキガヘルの蝌蚪より大きいやうです

×

ヒキガヘルは親になると馬鹿に大きくなりますが子供の時は意外に小さいものです

「オヤ、何だら、あの円いもの」

元氣よく泳いでゐる蝌蚪はギヨッとして止りました

西洋いタンクのやうな容物は彼ち後近くで來ました、アカガヘルの蝌蚪は彼等の中には兩足だけ生えたのや前手前足が生て